

令和元年度 第2回四万十市子ども・子育て検討会での意見交換内容（報告）

1 実施状況

日 時 令和2年2月27日（木） 18：30～20：10
場 所 四万十市立文化センター
参加者 13団体25名

2 意見交換内容

（1） 第1回検討会の報告について

- ・ 第1回検討会の内容を報告。
- ・ 検討会で出た意見を子ども子育て会議に諮り、必要な部分を第2期計画に反映させた。

【主な意見】

- ・ 0歳児の待機児童への対応、延長保育や一時預かり事業の拡充。
- ・ 文化複合施設のキッズスペースの充実。
- ・ 課題を抱えた家庭、子どもの貧困家庭への対策。
- ・ ファミサポの利用料金の見直し。

（2） 食育について

① 乳幼児期の食育の推進について

乳幼児期の食育の推進－管理栄養士より資料を基に説明。

《主な説明内容》

- ・ 生涯に渡り健康で質の高い生活を送る基本として、食を営む力の育成に向け基礎を培うことが保育所における食育の目標。楽しく食べることを期待しつつ、5つの子ども像を四万十市保育計画に盛り込み、食育推進に取り組んでいる。
- ・ 幼稚園は幼稚園教育要領に示される食育の推進、認定こども園は保育所と幼稚園双方の取組みを踏まえることとされている。保育所、幼稚園両方の観点から意見を挙げていただきたい。
- ・ 5つの子ども像に関して、保育所での具体的な取組内容について説明。
- ・ 食育は保育所だけではなく、家庭や地域と連携していくことが大切。連絡帳や保育参観などによる保育所と家庭との連携、レシピの紹介、不安や疑問を聞く離乳食講習会、栄養相談など未就園児の保護者に対する取組内容について説明。
- ・ 保育所、家庭、地域それぞれが連携し5つの子ども像を目標として楽しく食べる子どもに育つよう乳幼児期の食育に取り組んでいく。

② 健康増進計画における乳幼児期の食育－管理栄養士より説明

《主な説明内容》

- ・ H22に立ち上げた四万十市健康増進計画について、令和2年度からの第3期を策定中。壮年期の死亡、健康寿命の延伸、生活の質の向上をテーマとして改善に取り組んでいる。

- ・ 四万十市における5つの健康課題について状況を説明。
- ・ 食育は寝たきりの高齢者まで生涯に渡り、具体的な推進に向け4つのライフステージに分けている。
- ・ 乳幼児期の食育は妊婦、保護者へのアプローチが不可欠。生活習慣病予防に繋がる望ましい生活習慣、生活リズムを確立させる時期。
- ・ アンケート結果を見ると乳幼児期の朝食欠食率は案外低い。20代、30代の朝食欠食率は高く生活の背景を考えると捉えている。
- ・ 夕食後に夜食を食べる率は3歳、5歳で1/3。データが肥満、虫歯に直結するものではないが、大人の習慣に繋がる可能性はあると考えている。生活習慣病のリスクを落としていきたい。
- ・ 3歳、5歳の孤食は、朝・夕食をクロス集計すると0%。夕食は一人ではない。母親が家庭で忙しく一緒にテーブルについていないだけとみており、忙しい母親の方を何とかしてあげないといけないと考えている。
- ・ 乳幼児期の食育の重点項目として、母子保健事業において望ましい食生活の周知の他、保育所等における食育のカリキュラムと連動しながら取り組んでいる。

③グループワーク

テーマ「楽しく食べる子どもに～5つの子ども像について」

- ・ 2グループで5つの子ども像についての感想、課題に対して取り組みはないか意見を貰う。
- ・ 各グループ、まとめの発表

《第1グループ》発表

- ・ 保護者から保育所では沢山食べるが、自宅では食べてくれないという話はよく聞く。
- ・ 保護者は余裕がなく思うようにバランスを考えた食事の提供は難しい。対策として負担なく作れる朝食のレシピの配布など。前日の夕食のおかずを朝食食べるのも栄養を取るという点では一つの方法。
- ・ コンビニのお惣菜を使うのは、しっかり家庭で調理してほしいという一方、一般的な惣菜も人が作った物であり、楽しく食事をするという点では良いのではという両面からの意見があった。
- ・ レシピの配布など携帯を活用した情報発信も良いのではないかという意見があった。

《第2グループ》発表

- ・ 楽しく食べるためには、体験が楽しみに繋がることから、保育所の調理の様子を見たり、一緒に食べるなど、オープンに出来る場があっても良いという意見があった。
- ・ 子育て応援団が実施する食に関する企画になると保護者も良く来てくれ、関心はあると思う。一般の団体からもレシピなど、食に関する情報発信も出来るのではないか。
- ・ 過去に集会所で親子クッキングに参加して楽しかった記憶がある。防災時に簡単にできるパッククッキングなど良い。

- ・ 自宅では保護者は忙しくて余裕がない。保育所の楽しく食べる環境を家庭にどのようなようにおろしていくか考えられたら良い。

《まとめ》管理栄養士

- ・ 楽しく食べるための体験型の食育が大事、情報の発信の仕方でも今後の食育に繋がるようなヒントも得られた。今回出た意見を基に今後の四万十市の食育推進をしていく。今後、公立、民間、幼稚園の栄養士のネットワークも築いていきたい。

(3) 令和2年度の子ども子育て検討会について

- ① 第2期保育計画の中間見直しについて
- ② 保育所等整備計画について
- ③ 子育て支援施設（子育て支援センター、児童館、学童保育施設）について

- ・ 上記の内容で実施予定。来年度も子育て支援施策について意見をいただきたい。